

学校ウォッチ！ 新宮北小学校

“心のきずな” でつながるコミュニティ・スクール

新宮北小学校は、平成28年度の開校から本年度で4年目を迎えます。児童数は年々増加傾向にあり、6月1日現在では967人が通学しています。

学校の教育目標は「共に創造する社会力をもった、たくましい子どもの育成」です。また、本年度の重点目標を「学び合う喜びを感じ、高まろうとする子どもの育成」と設定しました。



▲PTAによる花植え活動

重点目標達成に向け、“学校・家庭・地域のチーム力の充実”を図りながら、日々の教育活動を推進していきたいと考えています。

本校の校歌には、「つながるつなごう 心のきずな」、「Let's go 未来へ Let's jump はばたく」という一節があります。“未来へはばたく子ども”を育成するためには、“学校・家庭・地域のつながり=心のきずな”を深めることが不可欠です。

本年度は「めざす子どもの姿の共有、協働実践」「安全で機能的な教育環境整備」「個に応じた生徒指導の充実」「“できる”が実感できる授業の創造」の4観点で、学校、家庭、地域が一体となって子どもを育てる仕組みをつくり、心のきずなを深めていきます。昨年度に引き続き、学校応援団(ボランティア)のみなさんの協力のもと、安全指導、環境整備、読書推進、学習支援などの活動を進めていきます。

わたしたちの生活を支えてくれる人たち

開校の翌年から、2年生の生活科で続けているのが「わたしたちの生活を支えてくれる人たち」という単元です。地域で子どもたちの見守り活動を続けているボランティアのみなさんに来校いただき、子どもたちが質問をしたり、一緒に給食を食べたりしています。

子どもたちは「どうして見守りボランティアをしようと思ったのですか」「どんなことが大変ですか」「嬉しいなと思うのはどんなときですか」など、どんどん質問していきます。すると、「みなさんに安全に元気に登校してほしいと願っています」「雨の日や風の日は大変だけど、みんなが笑顔で挨拶をしてくれたら、とっても嬉しい気持ちになります」などの答えが返ってきます。

この学習を終えると、子どもたちのあいさつの声は一段と大きくなります。きっと、子どもたちの心の中で、見守りボランティアをしてく

ださっているみなさんへの感謝の気持ちが大きくなっているからでしょう。今年の2年生もこの学習を行う予定です。普段の生活が、多くの人々の温かな気持ちや行動によって支えられていることに気づき、感謝の気持ちを素直に表現できる子どもたちを育てていきます。見守りボランティアのみなさん、これからもよろしくおねがいします。



▲見守りボランティアのみなさんに感謝する会